

道の駅「あしよろ銀河ホール 21」

道の駅「あしよろ銀河ホール 21」は、国道 241 号線と 242 号線の交差点に位置するお休み処です。この道の駅は、札幌、大雪山国立公園、富良野といった西にある観光地から阿寒摩周国立公園に向かう方にとって便利です。あしよろ銀河ホール 21 では、飲食物の購入や観光情報の閲覧ができ、足寄の歴史について学ぶことができます。この道の駅は、雌阿寒岳とオンネトー湖から車で 45 分ほどのところにあります。

飲食物と観光情報

建物の中には広々としたレストランがあり、和洋中の食事を幅広く取り揃えています。また、小さなパン屋では、パンやお菓子を販売しています。お土産屋にはジャムや牛乳、また、表彰を受けた足寄産のチーズといった地元の品々があります。この地域の見どころに関する多言語の観光パンフレットは、窓口で入手できます。

足寄の象徴と郷土史

1910 年から 2006 年まで、足寄には「ふるさと銀河線」という鉄道が通っていました。現在、「あしよろ銀河ホール 21」には、再現された線路が展示されています。以前の足寄駅は、この道の駅の隣にあります。駅周辺の舗装された広場には足型があります。これは、足寄の「足」にちなんだものです。

近くの見どころ

里見が丘公園は、この道の駅から歩いて 10 分です。この公園には、天然温泉の足湯とキャンプ場があり、子どもが自由に走れる大きな遊び場もあります。足寄動物化石博物館は、車で南に 5 分です。この博物館には、足寄で発見された化石や、海洋哺乳類の骨格標本が所蔵されており、教育的活動を体験できます。